

島田療育センターはちおうじを受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題名：「WISC-Vで導入された新しい概念は何を反映しているのか」

1. 研究の目的

小学生以降のお子さんでは、お子さんの知的発達や物事を理解する特徴を検討するべく Wechsler 検査が国内において広く使用されています。2022 年から新しく WISC-V が導入されて、当センターでも使用されております。今回の WISC-V では従来の知覚推理が「視空間」と「流動性推理」に分かれ、検査課題に関しても新たなものが追加されました。

検査を実施した結果、バラつき（でこぼこ）が見られた場合、海外では他の検査を追加して行い、どのような特徴があるのか検討します。しかし国内の検査の数は少なく、追加して行うにしてもお子さんへの負担が大きいデメリットがあります。そもそも検査結果のばらつきがあった場合、どのような特徴が考えられるのか、多くのお子さんの共通点を把握しておくことで、追加して検査を行う理由がしっかりとしてくること、場合によっては追加検査を行わず、日常生活の様子との関連性を検討することで十分な可能性が考えられます。そこで WISC-V で新しく導入された概念や検査間でのバラつきが見られたお子さんのグループでは、どのような共通点が見られるのか検討することで、よりしっかりとしたお子さんの力を把握することにつながると考え、研究を行うこととなりました。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：2022 年 5 月 1 日から 2023 年 5 月 1 日の間に、当院の外来を受診したお子さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 3 月まで
- ③ 研究方法：今回の WISC-V で新しく導入された概念や検査間で大きな得点差が見られたお子さんのデータを集め、WISC-V の検査結果はどのような特徴が見られるか、多く見られる診断があるのかを検討致します。

3. 研究に用いる情報の種類

WISC-V の検査結果、年齢、性別、診断名を対象とします。得点差が見られたお子さ

んのグループの平均値、標準偏差が対象となり、お子さん一人ひとりの結果を分析することはなく、個人の情報を分析することはありません。そのため本人が特定されることはなく、個人情報には保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は、学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじ

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、研究結果をお伝えすることもできますので、お申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2023年10月末日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじリハビリテーション科
公認心理師 佐藤 匠

住所：〒193-0931 東京都八王子市台町 4-33-13

電話：042-634-8439

研究責任者：

社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじリハビリテーション科
公認心理師 佐藤 匠